

大隅, 稲尾岳および周辺地区の植物

大 谷 茂*

On the vegetation of Mt. Inao-dake and the surrounding territory
of Ōsumi, Kyushu, Japan

Shigeru OHTANI*

(with 2 text-figures and 4 plates)

1. は じ め に

この報告は鹿児島県肝属郡で大隅海峡に面した標高 956 m の稲尾岳を中心に、その周辺地区の植物を調査した結果である。大中尾、辺塚、花瀬の谷は見るべき植物も多く、わけても稲尾岳はよく林相が保たれ、山も深く従って植物も豊富である。交通の不便と、また日数にも制約されて一回の調査では完全なものは求められない。この報告も予報にすぎないものである。

This report given the results of field investigations on Mt. Inao-dake, Kimotsukigun, Kagoshima-pref. and in Ōnakao, Hetsuka, Hanaze, etc. There are rich primitive forests in all the area. This is a preliminary report. Details will be reported later. All specimens which are quoted in this report are kept in the Herbarium of the Yokosuka City Museum.

2. 調 査 期 日

昭和 38 年 (1963) 8 月 22 日より 8 月 25 日まで。

3. 調 査 地 域

1. 鹿児島—垂水—大根占—伊座敷—大中尾—辺塚。
2. 辺塚—熊細 (くまのほそい)—花瀬峠—瀬戸ロ—花瀬—田代。
3. 田代—鶴戸野 (うどんの)—開拓部落—稲尾岳—田代。
4. 田代—大根占—垂水—桜島—鹿児島。

4. 目 録

上記の地域で採取した標本と堀 金義氏より入手した多少の標本ならびに現地で確認したものによって、この目録をつくってみた。科の数字は本館における植物標本の分類整理番号である。必要なところは観察点、生態的事項、分類学的私見などをのべてみた。標本は本館に保管してある。

* Yokosuka City Museum, Yokosuka, Japan. 横須賀市博物館



Fig. 1. A view in a primitive forest of Mt. Inao-dake, the left is Mr. Shizuo Sako and the right is the author. 大隅, 稲尾岳の原始林.

Pteridophyta

E. 3. Lycopodiaceae ひかげのかずら科

Lycopodium serratum THUNBERG

var. *longeptiolatum* SPRING オニトウゲシバ 稲尾岳。

Lycopodium Fordii BAKER ナンカクラン 花瀬峠附近, 稲尾岳。

Lycopodium Sieboldii MIQUEL ヒモラン 花瀬峠, 内之牧。

E. 4. Selaginellaceae いわひば科

Selaginella heterostachys BAKER ヒメクラマゴケ, ヒメタチクラマゴケ 辺塚。

E. 7. Marattiaceae (Angiopteridaceae) りゅうびんたい科

Angiopteris lygodiiifolia Ros. リュウビンタイ 大甲尾。

E. 10. Gleicheniaceae うらじろ科

Gleichenia laevissima CHRIST カネコシダ 高隈山猿ヶ城。

E. 11. Hymenophyllaceae こけしのぶ科

Vandenboschia auriculata (BL.) COPEL. シルホラゴケ 辺塚。

E. 12. Pteridaceae わらび科

Lindsaea cultrata (WILLD.) Sw. ホングウシダ 垂水市, 猿ヶ城。

Lindsaea japonica (BAK.) DIELS サイゴクホングウシダ 稲尾岳。

Pteris oshimensis HIERON. コハチジョウシダ, ハチジョウシダモドキ 花瀬峠附近。

Pteris Wallichiana AGARDH ナチシダ 大甲尾, 鵜戸野一開拓部落。

E 17. Aspidiaceae おしだ科

Athyrium clivicola TAGAWA カラクサイヌワラビ 稲尾近。

Athyrium iseanum Ros. ホソバイヌワラビ 辺塚, 花瀬, 稲尾岳。

Athyrium otophorum (Miq.) Koidz. タニイヌワラビ 稲尾岳。

form. *viridescens* KURATA ミドリタニイヌワラビ 稲尾岳。

Athyrium arisanense (Hayata) Tagawa アリサンイヌワラビ, アリサンワラビ 稲尾岳。

Cornopteris opaca (Don) Tagawa ナンゴクシケチンダ 花瀬, 稲尾岳麓。

Diplazium hachijoense Nakai シロヤマシダ 花瀬。

Diplazium Wichurae (Mett.) Diels

var. *amabile* Tagawa ヒメノコギリシダ 花瀬峠附近。

Dryopteris nipponensis Koidzumi トウゴクシダ 稲尾岳。

Dryopteris commixta Tagawa ツクシイワヘゴ 花瀬, 稲尾岳。

Leptogramma mollissima (Fisch. ex Kunze) Ching ミゾシダ 稲尾岳。(Fig. 3)

Lunathyrium fimbriichlamys (Nakai) Kurata ナチシケンダ 花瀬峠附近。

Lunathyrium dimorphophyllum (Koidz.) Kurata セイタカシケンダ 大中尾 (伊座敷から辺塚に至る途中で大中尾峠附近の右側の谷)。

The locality is the southern limit of the distribution of this species in Japan.

Polystichum tripterum (Kunze) Presl ジュウモンジンダ, シュモクシダ 稲尾岳。(Fig. 4)

Polystichum Tagawanum Kurata イノデモドキ 稲尾岳。

Thelypteris cystopteroides (Eat.) Ching ヒメハシゴシダ 稲尾岳。

E. 19. Aspleniaceae チャセンシダ科

Asplenium antiquum Makino オオタニワタリ 花瀬峠附近。

Asplenium filipes Copel. オトメホウビンダ (倉田, 1960) 花瀬峠附近。(Fig. 5)

E. 20. Cheiroleuriaceae すじひとつば科

Cheiroleuria bicusps (Bl.) Presl スジヒトツバ, ハリガネシダ 垂水, 猿ヶ城。

E. 20. Polypodiaceae うらばし科

Colysis Wrightii (Hook.) Ching ヤリノホクリハラシ 花瀬。

Colysis shintenensis (Hayata) H. Ito シンテンウラボシ 花瀬発電所附近。

Crypsinus Engleri (Luer.) Copel. タカノハウラボン 花瀬峠附近, 稲尾岳。

Grammitis Okuboi (Yatabe) Ching オオクボンダ 稲尾岳。

E. 21. Vittariaceae ししらん科

Vittaria flexuosa Fée シシラン 稲尾岳。

附 記

1. 稲尾岳のミゾシダは, すべて矮小でヤクシマミゾシダ *Leptogramma mollissima* form. *yakusimensis* (H. Ito) Kurata に葉形が近似している。単なる地方的変異であって区別する必要はないのではなからうか。

2. 大中尾でセイタカシケンダを採取したがここが分布の南限ということになる。

3. 稲尾岳のジュモンジンダは葉形全くタイワンジュウモンジンダ *Polystichum Hancockii* (Hance) Diels に近似している。ただ鱗片がジュウモンジンダほどではないが, 極くまばらに葉軸や羽軸についている。屋久島のタイワンジュウモンジンダをみても, これらに多少の鱗片がないでもない。

4. 辺塚から花瀬峠を越し左の谷にはいったところに倉田先生の新称されたオトメハウビンダがある。本種はハウビンダとヤクシマハウビンダの中間的な様子をしているもので全体弱々しく、葉の質うすく、羽片の後側は極めて発達わるく、sorus は中肋に接してつきその数は少ない。しかし、羽片の先から基の方にいくに従いソーラスは中肋から離れる。この谷はほとんど樹木が伐採されたので、恐らくこの珍羊歯も近くなるものではなかろうか。

5. この地域に採取の報告があるもので著者の採取できなかったものは次の種である。

Vandenboschia liukiuensis (YABE) TAGAWA リュウキュウホラゴケ 辺塚。

本種は琉球列島の特産で従来の北限は屋久島であったが、鹿児島の新川溪谷(初島, 1954)、大隅の辺塚(岩槻, 1960)に発見されている。

Diplazium dilatatum BL. ヒロハノコギリシダ 大中尾～辺塚。

Diplazium virescens KUNZE

var. *okinawaense* (TAGAWA) KURATA オキナワコクモウクジャク 花瀬, 大中尾～辺塚。

Diplazium sp. オオスミクジャク 花瀬。

本種は倉田先生の新称になったもので、シロヤマシダとオキナワコクモウクジャクの中間的性質をもったものである。

Dryopteris melanocarpa HAYATA クロミノイタチシダ 辺塚～田代。

Elaphoglossum Yoshinagae (YATABE) MAKINO アツイタ 辺塚～田代。

Thelypteris subochthodes CHING

form. *laciniata* KURATA ハゴロモイブキシダ 辺塚～田代。

本種はイブキシダのきれこみ深いものである。

Asplenium shikokianum MAKINO ハヤマシダ 辺塚～田代。

Vittaria zosterifolia WILLD. アマモシラン 辺塚～田代。

Gymnospermae

D. 6. Pinaceae (Abietoideae) まつ科 (もみ亜科)

Abies firma SIEB. et ZUCC. モミ 稲尾岳頂上。

本種は屋久島まで分布はしているが、純林としてはこの稲尾岳が南限であろう。

This locality is the southernmost limit of unmixed stands of this species.

Tsuga Sieboldii CARR. ツガ 稲尾岳。

Angiospermae

C. 9. Triuridaceae ほんごうそう科

Sciaphila japonica MAKINO ホンゴウソウ

Sciaphila tosaensis MAKINO ウエマツソウ

上記とともに高隅山、垂水側猿ヶ城 (1960)。

この2種のものは堀 金義氏から入手したものである。いずれも林中腐葉土上に寄生する小草で稀産種である。タカクマソウ *Sciaphila takakumensis* OHWI も高隅村下高隅字仮段で発見されている(堀 金義: 1935)。また竹島がこのタカクマソウの第2の新分布地として明らかになった(坂本米吉—1957)。

C. 10. Gramineae いね科

Hemarthria compressa (LINN. fil.) R. BR. コバノウシノシッペイ 稲尾岳入口、開拓部落。

C. 11. Cyperaceae かやつりぐさ科

Carex sacrosancta HONDA ジングウスゲ, ヒメナキリスゲ 花瀬, 稲尾岳。

現地ではオオイトスゲか? といわれていたが, 持ち帰って調べてみたら全体やせ形で, 花部の構造その他からジングウスゲであった。本種の小穂は雄雌性で頂部の少数は雄花, 他は雌花部で, 疎に少々少数花をつける。

本種は昭和4年に伊勢の内宮々域に発見されたもので, その後本州中部, 四国, 九州にも分布することがわかったが, 稀産種である。

C. 12. Palmae やし科

Livistona subglobosa (HASSK.) MARTIUS ビロウ 辺塚。(Fig. 1)

C. 13. Araceae さといも科

Arisaema ringens (THUNB.) SCHOTT ムサシアブミ 花瀬。

Pinellia tripartita (BLUME) SCHOTT オオハンゲ 花瀬。

C. 21. Liliaceae ゆり科

Chionographis Koidzumiana OHWI チャボシライトソウ 稲尾岳。

本種はシライトソウよりも全体が繊細なものである。葉は狭卵形～卵形だが, 茎葉は線形をしている。花序は疎である。

本種は従来, 尾張, 紀州, 土佐, 屋久島, 日向の尾鈴山で知られていたが, 近く初島住彦先生が宮崎県の大崩山で採取 (1960) されているものである。鹿児島県本土ではこの稲尾岳が最初であろうか。

This is a new locality.

Disporum sessile DON ホウチャクソウ 稲尾岳。

Polygonatum macranthum (MAXIM.) KOIDZ. オオナルコユリ 稲尾岳。

本種はナルコユリよりも全体大形で葉も広く平滑である。果実も大きい。葉の下面粉白をおびているが, 脈上平滑であるので, マルバオウセイではない。本種を鹿児島の人々は, オオバオウセイといっていたが, はたしてそんな和名があるものであろうか。

Rohdea japonica (THUNB.) ROTH オモト 大中尾。

Tricyrtis ohsumiensis MASAM. タカクマホトトギス 垂水, 猿ヶ城。

本種とはちがったものだが, 薩摩の紫尾山の頂上附近で見たものが, この稲尾岳にも多く見られた。それはヤマジノホトトギスに近いもので, しかも倭生種である。

C. 23. Dioscoreaceae やまのいも科

Dioscorea quinqueloba THUNB. カエデコロ 花瀬峠附近。



Fig. 2. *Chionographis Koidzumiana* OHWI. チャボシライトソウ 稲尾岳。

C. 26. Burmanniaceae ひなのしゃくじょう科

Burmattia liukiensis HAYATA キリシマシャクジョウ 稲尾岳。

本種は高さ 10 cm 内外の繊細な一年草稀産種で、茎は単純で糸状をなし、極くわずかの鱗片葉がある。花は数個、帯白色で、疎なる岐微状の花序である。葯隔の基に距があるので、シロシャクジョウやルリシャクジョウとはちがう。また花筒に翼があるので、ヒナノシャクジョウとも異なるものである。本種を稲尾岳のシイ樹林下に一本とはいえ採取出来たことは幸いであった。本種は種子島で照屋金照氏が採取 (1914) したものを早田博士が命名発表したことに始まるようである。沖縄で天野鉄夫氏も採取 (1951) したとのことである。本館には、その後、高隅山、鹿屋側、吉が別府産標本 (1932) 5 本が堀 金義氏より送られたのがある。

C. 27. Orchidaceae らん科

Bulbophyllum Drymoglossum MAXIM. マメヅタラン 花瀬峠附近。

Calanthe reflexa MAXIM. ナツエビネ 稲尾岳。

Dendrobium moniliforme (LINN.) SW. セキコク 花瀬峠附近。

Dendrobium tosaense MAKINO キバナノセキコク 花瀬峠附近。

Eria reptans (FRANCH. et SAVAT.) MAKINO オサラン 花瀬峠附近。

Goodyera velutina MAXIM. シュスラン、ビロードラン 稲尾岳。

Goodyera commelinoides FUKUYAMA ツルクサシュスラン 大中尾。

上記の林下に一面に匍って生じていたが、時期的に、まだ花は見られなかった。従来サツマウズラといっておったものである。

Listera Makinoana OHWI アオフタバラン 稲尾岳。

本種の葉は広卵形で花茎の基部についている。花茎の鱗片葉はこの属で最も多く 4~10 ある。

Orchis graminifolia (REICHB. fil.) TANG et WANG ウチョウラン 稲尾岳。

Phajus minor BLUME ガンゼキラン 大中尾、稲尾岳。

form. *punctatus* OHWI ホンケイラン 稲尾岳。

上記の2種は大形の地上生ランで、葉には関節がなく、縦に数個のしわがある。茎の基部は卵状狭円錐形の偽茎に肥厚し稜角がある。葉に黄斑のあるものをホンケイランという。

Platanthera tipuloides LINDLEY

var. *nipponica* (MAKINO) OHWI コバノトンボソウ 高隅山、猿ヶ城。

Yoania amagiensis NAKAI et MAEKAWA キバナノショウキラン 大中尾。

B. 3. Chloranthaceae センリょう科

Chloranthus glaber (THUNB.) MAKINO センリョウ 稲尾岳。

var. *flavus* MAKINO キミノセンリョウ 辺塚。

Chloranthus serratus (THUNB.) ROEM. et SCHULT. フタリシズカ 稲尾岳。

B. 5. Myricaceae やまもも科

Myrica rubra SIEB. et ZUCC. ヤマモモ 稲尾岳。

B. 8. Fagaceae ぶな科

Castanopsis cuspidata (THUNB.) SCHOTTKY ツブラジイ 稲尾岳。

Pasania edulis MAKINO マテバシイ 稲尾岳。

Quercus acuta THUNBERG アカガシ 稲尾岳。

Quercus salicina BLUME ウラジログシ 稲尾岳。

Quercus phillyraeoides A. GRAY ウバメガシ 辺塚。

本種は三浦半島、房州、伊豆半島以西、四国、九州南部、屋久島など局部的に生じている。大隅半島では南部海岸附近の丘陵地に限られて自生している。本種は葉の質厚く、クチクラ層の発達もよく、辺縁は硬く、やや裏面に巻きこみ、典型的な硬葉型で、一種の硬葉樹種とみるべきである。

多く温暖乾燥地に自生するものであるが。大隅の南部は温暖ではあるが必ずしも乾燥地ではない。大隅の南部は日本でもむしろ多雨地に属するのであるが、海の直接的影響で、そこが局部的に水分が多くても塩分を含むことによって、それが利用し難い状態で、乾燥と同一的生理現象となるための特殊環境によつて残された遺存植物群落の部類と考えられるものである。

B. 10. Moraceae くわ科

Ficus Wightiana WALL. アコウ 大中尾。

B. 12. Podostemaceae かわごけそう科

Lawiella kiushiana KOIDZUMI カワゴケソウ 花瀬川、千畳整。

B. 17. Aristolochiaceae うまのすずくさ科

Asarum perfectum F. MAEKAWA キンチャクアオイ 大中尾。

本種は葉が長楕円形で、縁は不規則にちぢれている。斑紋はどれにもなかった。

B. 18. Rafflesiaceae やっこそう科

Mitrastemon Yamamotoi MAKINO ヤッコソウ 稲尾岳。(Fig. 2)

本種は奴のねり歩く姿に似た珍奇な寄生植物で、宿主はシイの木の根である。現地観察で、シイの木を中心にして1m位離れた円周上に並列して群生していることがわかった。花期は晩秋11月ごろであるため、本調査では本年の花を見ることができなかったが、昨年の花がそのまま残っていた。またその附近に本年の新らしい、球形に短かく肥厚し、表面がザラザラしている乳白色の根茎が多数見られた。

B. 19. Balanophoraceae つちとりもち科

Balanophora japonica MAKINO ツチトリモチ 大中尾。

本種は別名ヤマデラボウズともいい、山林内に生ずる寄生植物である。花序は橙赤色で美しい。雄株がまだ見つからず、単位結果する珍しい植物である。

B. 29. Trochodendraceae やまぐるま科

Trochodendron aralioides SIEB. et ZUCC. ヤマグルマ 稲尾岳。

B. 32. Ranunculaceae きんぼうげ科

Clematis Pierotii MIQUEL コバノボタンズル 花瀬峠附近。

B. 35. Menispermaceae つずらふじ科

Stephania japonica (THUNB.) MIERS ハスノハカズラ 花瀬峠附近。

B. 36. Magnoliaceae もくれん科

Illicium religiosum SIEB. et ZUCC. シキミ、ハナノキ 稲尾岳。

B. 37. Lauraceae くすのき科

Actinodaphne lancifolia (SIEB. et ZUCC.) MEISSN. カゴノキ 稲尾岳。

Actinodaphne longifolia (BLUME) NAKAI バリバリノキ, アオカゴノキ 稲尾岳。

Benzoin erythrocarpum REHD. カナクギノキ 稲尾岳山麓。

Cinnamomum japonicum SIEBOLD ヤブニッケイ 稲尾岳。

Machilus Thunbergii SIEB. et ZUCC. タブノキ 稲尾岳。

Machilus japonica SIEB. et ZUCC. ホソバタブ, アオガシ 稲尾岳。

Neolitsea aciculata (BLUME) KOIDZ. イヌガシ, マツラニッケイ 稲尾岳。

Parabenzoin trilobum (SIEB. et ZUCC.) NAKAI シロモジ 稲尾岳頂上附近。

B. 43. Saxifragaceae ゆきのした科

Cardiandra alternifolia SIEB. et ZUCC. クサアジサイ 稲尾岳。

Hydrangea paniculata SIEBOLD ノリウツギ 稲尾岳。

Hydrangea scandens (L.F.) SERINGE ガクウツギ, コンテリギ 稲尾岳。

B. 45. Hamamelidaceae まんさく科

Distylium racemosum SIEB. et ZUCC. イスノキ, ユスノキ, ヒョンノキ, ユシノキ 花瀬峠附近, 稲尾岳 (この樹種が特に多い)。

B. 46. Rosaceae ばら科

Prunus Zippeliana MIQUEL バクチノキ 大中尾。

B. 47. Leguminosae まめ科

Bauhinia japonica MAXIM. ハカマカズラ 大中尾。

Desmodium racemosum (THUNB.) DC.

var. *mandshricum* (MAXIM.) OHWI ヤブハギ 稲尾岳。

本種は小葉が薄く, 狭卵形である。また葉は茎の一部, 多くは下部の方に集まって出るものである。

Desmodium austro-japonense OHWI オオバヌスビトハギ, サイコトキワヤブハギ 花瀬峠附近。

葉は常緑で硬い。葉の上面とくに主脈上に伏毛がある。また下面の脈が目立ち, 脈上に短毛がある。小葉は3個, 頂小葉は卵形で側小葉より大きい。総状花序はまばらである。

Milletia japonica (SIEB. et ZUCC.) A. GRAY ナツフジ, ドヨウフジ 花瀬峠附近。

本種は小葉が小さく, 総状花序は腋生で花は小さく淡黄緑色, 夏開花するなどの点でフジ属 *Wisteria* とは異なるものである。

B. 56. Euphorbiaceae とうだいぐさ科

Aleurites cordata R. BR. アブラギリ 稲尾岳。

本種は中国原産の植物であるが, ここでは野生化している。

Daphniphyllum macropodum MIQUEL ユズリハ 稲尾岳。

Daphniphyllum Teijsmanni ZOLL. ヒメユズリハ 稲尾岳。

わが国の民俗習慣でユズリハの葉を新年の飾りとして用いられるが, 北薩地方ではユズリハをきらって, ヒメユズリハをつかっているのは面白い。九州では特に鹿児島県ではどちらかというとヒメユズリハの方が少ないので, 新年の飾りも樹種の少ない方を珍重して用いるのであろうか。

Glochidion obovatum SIEB. et ZUCC. カンコノキ 大中尾。

Sapium japonicum (SIEB. et ZUCC.) PAX et HOFFM. シラキ 稲尾岳。

B. 62. Aquifoliaceae もちのき科

Ilex crenata THUNBERGvar. *Fukasawana* MAKINO

form. ムッチャガラ (ツクシイヌツゲ) 稲尾岳。

本種は枝に著しい稜角がある。ツクシイヌツゲの小枝や葉柄に毛の出る型である。

Ilex goshiensis HAYATA ツゲモチ, オキナワモチノキ, オキナワソヨゴ, リュウキュウソヨゴ 花瀬, 千畳敷。

本種は紀伊の志摩が分布の北限界かとおもう。志摩郡浜島町宇氣比神社々叢のものは県指定天然記念物となつている。四国, 九州, 琉球, 台湾に分布するものである。

すでに果実の時期で, 果実は小さく径 3 mm くらいである。葉は楕円形, 倒卵形, 長楕円形で, 長さ 3~6 cm のものである。ただ本採品は葉が細いので, 屋久島型によく似ている。

B. 63. Celastraceae にしきぎ科

Euonymus alatus SIEBOLDvar. *rotundatus* HARA オオコマユミ 稲尾岳頂上附近。

本種の枝はサワダツに似て緑色だが, 翼がないので区別できる。

Tripterygium Doianum OHWI コバノクロズル 稲尾岳。

本種はクロズルよりも葉は小さく, その基部が広楔形で円形でない。また花序は無毛で果実の基部は, 切形か円形で, 心形でないので区別ができる。

B. 71. Rhamnaceae くろうめもどき科

Rhamnella franguloides (MAXIM.) WEBERBAUER ネコノチチ 稲尾岳。

B. 72. Vitaceae ぶどう科

Ampelopsis leoides (MAXIM.) PLANCH. ウドカズラ 花瀬峠附近。*Cayratia Yoshimurai* (MAKINO) HONDA アカミノブドウ 大中尾。

本種は亜熱帯の植物で, 九州南部, 琉球に分布するものである。枝や花序は無毛, 葉の質うすく, 頂小葉は長楕円形~広披針形をしている。果実は紫赤色一後に黒くなる。

本種はノブドウ属ではなくて, ヤブカラシ属である。よってアカミノヤブカラシとするほうが適切な名である。

B. 74. Tiliaceae しなのき科

Triumfetta japonica MAKINO ラセンソウ 熊細 (くまのほそい)。

B. 78. Theaceae つばき科

Camellia japonica LINNAEUS ヤブツバキ 稲尾岳。*Cleyera japonica* THUNBERG サカキ 稲尾岳。*Stewartia monadelpha* SIEB. et ZUCC. ヒメシャラ 稲尾岳。*Stewartia pseudo-camellia* MAXIM. ナツツバキ, シャラノキ 稲尾岳。

本種は樹皮が灰色と灰褐色の斑紋状で, リョウブの膚をおもわせるものである。ここが本種の分布の南限であろう。

B. 79. Guttiferae おとぎりそう科

Hypericum pseudo-petiolatum R. KELLER サワオトギリ 稲尾岳。

本種の葉は倒卵状長楕円形で中央より先が最も広い。明点密布。葉の基部は茎を抱かず短柄がある。

B. 82. Flacourtiaceae いいぎり科

Idesia polycarpa MAXIMOWICZ イイギリ 稲尾岳。

B. 84. Thymelaeaceae じんちょうげ科

Diplomorpha trichotoma (THUNB.) NAKAI キガンピ, トサガンピ 花瀬峠附近, 稲尾岳。

本種は葉が対生で、花序や萼とともに無毛である。花序は頂生、花は黄色。本地区には豊富に分布している。

B. 90. Melastomaceae のぼたん科

Osbeckia chinensis LINNAEUS ヒメノボタン 花瀬。

B. 95. Araliaceae うこぎ科

Schefflera octophylla (LOUR.) HARMS フカノキ 大中尾。

B. 97. Cornaceae みずき科

Cornus controversa HEMSL. ミズキ 稲尾岳。

Cornus macrophylla WALLICH クマノミズキ 稲尾岳。

Cornus Kousa BUEGER ex MIQUEL ヤマボウシ 稲尾岳頂上附近。

A. 3. Pyrolaceae いちやくそう科

Pyrola japonica KLENZE イチヤクソウ 稲尾岳。

A. 4. Ericaceae つつじ科

Enkianthus cernuus (SIEB. et ZUCC.) MAKINO

form. *rubens* (MAXIM.) OHWI ベニドウダン 稲尾岳。

Pieris japonica (THUNB.) D. DON アセビ 稲尾岳。

Rhododendron reticulatum D. DON コバノミツバツツジ 稲尾岳。

Rhododendron Weyrichii MAXIMOWICZ オンツツジ, ツクシアカツツジ 稲尾岳。

A. 5. Myrsinaceae やぶこうじ科

Ardisia japonica (THUNB.) BLUME

var. *angusta* (NAKAI) MAKINO et NEMOTO ホソバヤブコウジ 稲尾岳。

A. 6. Primulaceae さくらそう科

Lysimackia Tanakae NAKAI ミヤマコナスビ 稲尾岳。

上記のところのものはナガエコナスビ *L. japonica* THUNB. でもなく、またオニコナスビ *L. Tashiroi* MAKINO でもない。どちらかといえばミヤマコナスビに最も近きものである。葉形その他に多少の差異が認められるが一応ミヤマコナスビとしておく。オオスミコナスビといわれたものが本採品であろうとおもうが以後の調査にまつこととする。

A. 9. Symplocaceae はいのき科

Symplocos coreana (LÉV.) OHWI タンナサワフタギ 稲尾岳。

Symplocos myrtacea SIEB. et ZUCC. ハイノキ 稲尾岳。

A. 11. Oleaceae もくせい科

Osmanthus Zentaroanus MAKINO ナタオレノキ, サツマモクセイ 高隅山, 猿ヶ城。

本種は葉の先が長く漸次に尖るもので、急に尖るオオモクセイ *O. rigidus* NAKAI とは異なる。若木の葉には針に終る粗鋸歯があるので、常に全辺葉のハチジョウモクセイ *O. hachijoensis* NAKAI とは明らかに異なる。本種の副芽ははっきりわかる。

A. 13. Gentianaceae りんどう科

Swertia Tashiroi (MAXIM.) MAKINO (= *S. kuroiwai* MAKINO) ヘツカリンドウ, リュウキョウアケボノソウ 大中尾, 稲尾岳。

本種の根葉は花時生存して極めて大形であるのに比して、茎葉は著しく小形である。疎な円錐花序である。

A. 19. Verbenaceae くまつづら科

Clerodendron trichotomum THUNBERG

var. *yakusimense* (NAKAI) OHWI アマクサギ 大中尾。

本種はクサギの変種で葉は光沢があり、全体ほとんど無毛で、花も少ない。また葉に臭気がないものである。

A. 20. Labiatae しそ科

Lamium humile (MIQ.) MAXIM. ヤマジオウ 稲尾岳。

Perillula reptans MAXIM. スズコウジュ 花瀬峠附近, 稲尾岳。

Salvia glabrescens MAKINO

var. *trisecta* (MATSUM.) HONDA ミツデコトジソウ 稲尾岳。

本種は全形小形のもので、葉は三中〜全裂し鋸歯の鋭いものを特にいうのである。

A. 21. Solanaceae なす科

Solanum biflorum LOUR. メジロホウズキ 大中尾。

本種の茎の下部は木化している。花は葉腋に 1~3 個束生する。萼は細くして 10 裂し、花柄とともに褐色の軟毛が密布している。

A. 25. Gesneriaceae いわたばこ科

Lysionotus pauciflorus MAXIM. シシンラン 花瀬峠附近。

A. 32. Caprifoliaceae すいかずら科

Abelia serrata SIEB. et ZUCC. コツクバネウツギ 稲尾岳。

A. 37. Campanulaceae ききょう科

Adenophora triphylla (THUNB.) A. DC. サイヨウ (細葉) シャジン 大中尾。

A. 39. Compositae きく科

Ainsliaea apiculata SCH.-BIP. キッコウハグマ 稲尾岳。

Pertya robusta (MAXIM.) BEAUV.

var. *kiushiana* KITAMURA ツクシカシワバハグマ 稲尾岳。

本種は葉の幅が広く、長さほとんど変らない。また頭花に短い柄があることと、総苞の背に細毛があることでカシワバハグマと異なるものである。

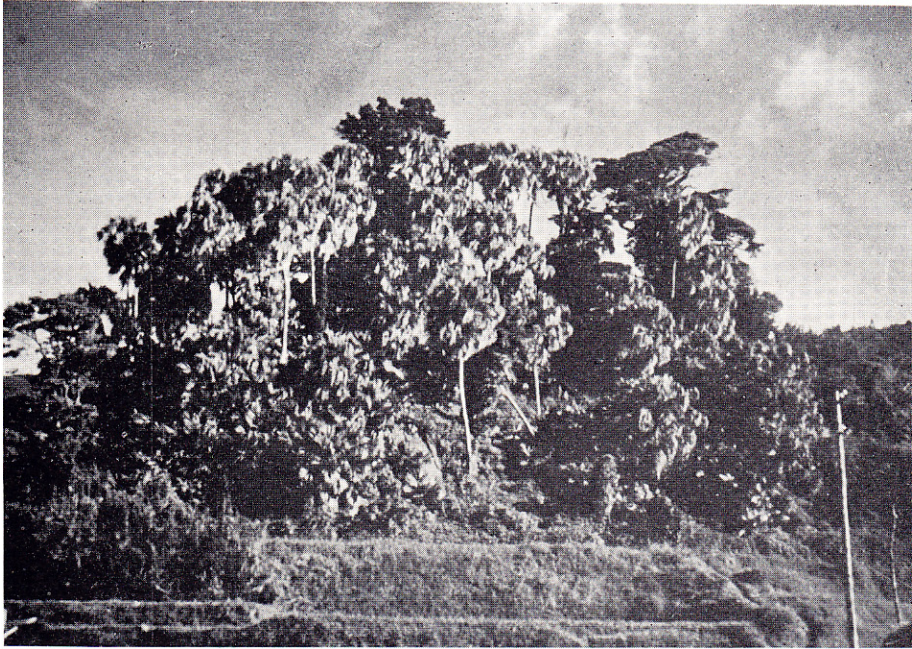


Fig. 1. A plant community of *Livistona subglobosa* (Hassk.) Martius, at Hetsuka, Kagoshima-pref., Kyushu. ビロウ林, 大隅, 辺塚.

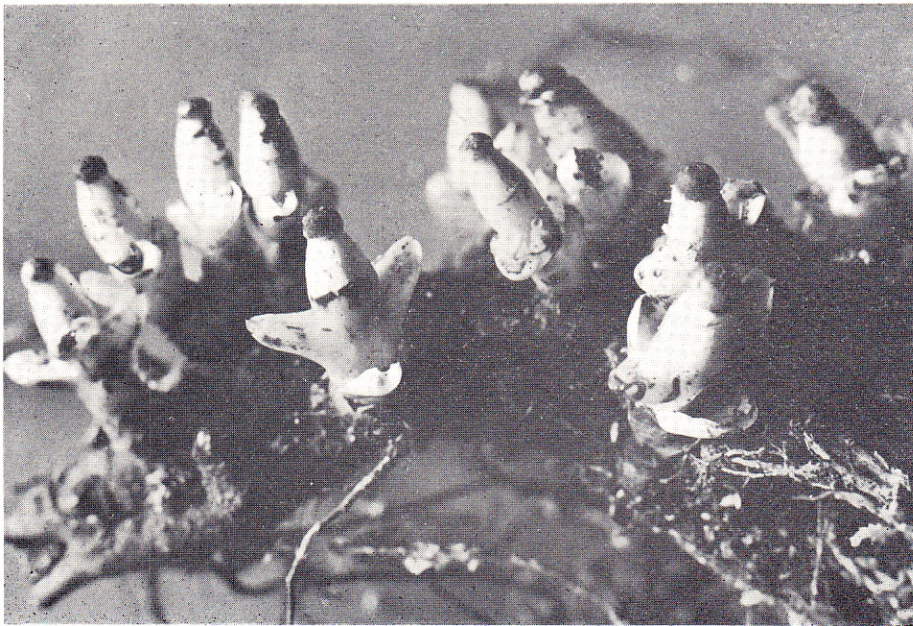
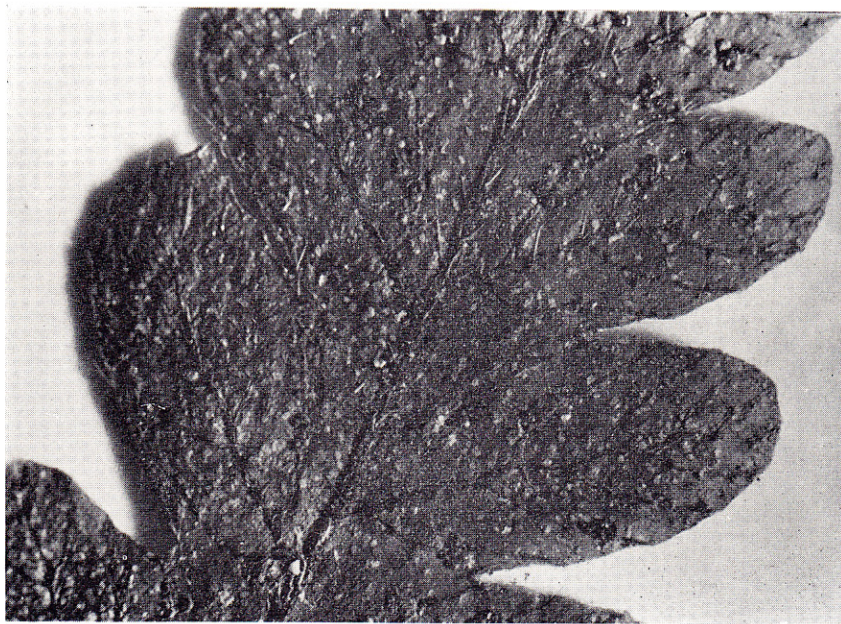


Fig. 2. *Mitrastemon Yamamotoi* Makino with its host which is root of *Castanopsis cuspidata* Schottky. This photograph shows a stage when monadelphous stamens came off naturally. シイの木の根に寄生する ヤッコソウ。雄ずいは、すでに落ちて、柱頭があらわれている。写真は谷山市, 山田のもの。



(A)

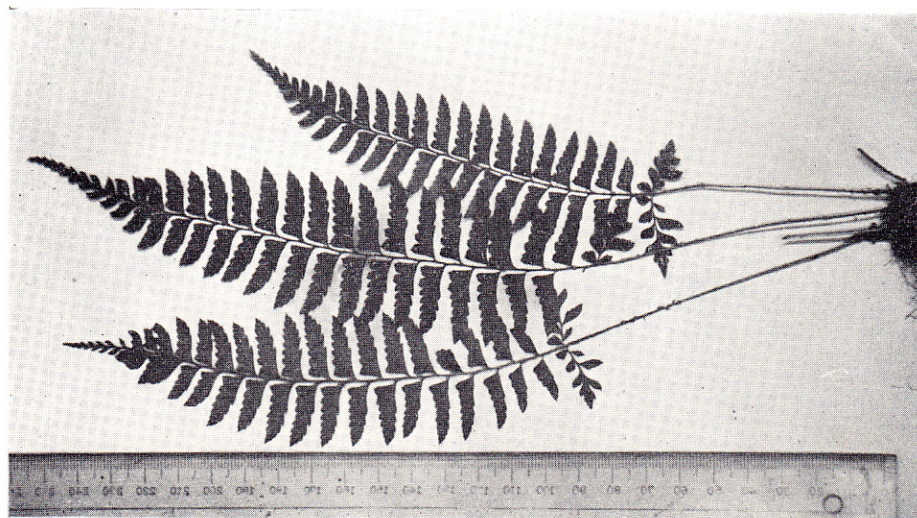


(B)

Fig. 3. *Leptogramma mollissima* CHING ミゾシダ, 大隅, 稲尾岳.
A. whole. B. under surface of frond, enlarged.



(B)
Fig. 4. *Polystichum tripterum* PRESL. ジュウモンジンダ 大隅, 稲尾岳.
A. whole. B. under surface of lowest pinnae, enlarged.



(A)



(A)
Fig. 5. *Asplenium filipes* COPELAND オトメホウビシダ 大隅, 花瀬.
A. whole. B. under surface of frond, enlarged.

5. お わ り に

このたび大隅南部の植物調査にあたって、事前にその着眼すべきところなど諸注意を与えられた東京大学農学部助教授倉田 悟先生、また日程や地域で見るべき植物などこまかい指導をたまわった鹿児島大学農学部教授初島住彦先生ならびに鹿児島県立博物館長久保田英穂先生および同博物館の井口重雄先生、さらには現地調査に終始助言と指導をおしななかった鹿児島大学農学部の迫 静男先生、鹿児島純心学園女子高等学校教諭堀 金義先生など関係された多くの方々にたいして深甚の謝意を表する。

文 献

- 初島住彦 1962. 九州産植物分布新報. 北陸の植物, 11 (3): 77.
堀 金義 1954. 鹿児島県における特殊植物, タカマソウとその分布について. 生物研究 (日本生物教育会), 1 (1): 2~4.
今村駿一郎 1928. わが日本にて始めて発見せられし珍植物カワゴケソウ. 植物研究雑誌, 5 (2): 50~62.
伊藤武夫 1961. 伊勢, 神宮植物記: 308. 伊勢.
倉田 悟 1960. 大隅半島のシダ, 10 大ニュース (4). 日本シダの会々報, 45: 9.
上村 登 1944. ヤッコソウ. 土佐の植物, 26~29.
牧野富太郎 1928. わが日本において学界に興味を与えし植物発見の略史. 植物研究雑誌, 5 (2): 37~49.
行方富太郎, 倉田 悟 1961. 日本産シダ植物総目録. シダの採集と培養. 東京.
大井次三郎 1956. 日本植物誌. 東京.
田代信二 1960. 大隅花瀬のシダ. 日本シダの会々報, 45: 9.
吉川純幹 1958. 日本スゲ属植物図譜, 第2巻: 244. 金沢.